

日本あちこち河川遡行記（第 296 回）

大阪 2-2. 西除川（その 2）令和 1 年 10 月 25 日（金）雨

大雨をもたらす低気圧のため遡行に出かけるかどうか迷ったが、昨夜のネットでの堺市の予報では雨は午前中までとなっていたのと今朝も変わらないので出かける。岡山も 7 時過ぎまで雨であったが出かける寸前に雨が止み発車オーライ。



01.今回調査区間位置図

いつも乗るこだまは広島からの旅行社募集のグループ客でほぼ満席の盛況である。相当安く席を販売しているのだろうと推測する。先日帰路について南海高野線、初芝駅に着き急いで駅前のバス乗り場に行くと美原区役所行きバスが時刻通りの発車でウインカーを出している。手をあげ急いで乗り込みセーフ。電車が時刻表通りの運行ならば 2 分の乗り換え時間が有るのだが、先行する特急が遅れその影響で 1 分以上遅れが原因である。子供の時に「1 回乗っても何回電車！」と戯言を言っていたものだ。

先日乗った「今井南」バス停の一つ手前の「小寺」で下車。小雨が降っているので持ってきたビニール傘を開く。前の良く見えるビニール傘でないと歩行と橋の調査に困るのだ。左岸側を南に進み最初の橋は「法雲寺橋」で、橋の直ぐ東側には広く立派なお寺が有る。山門は変わった姿で、橋には擬宝珠も付いている。

台地に掘割のようになった川は雨で水量豊富に流れている。今回の低気圧も南北長く厚い雨雲を伴いゆっくりと北北東に動いている。直ぐ東には強烈な台風 21 号がこれも北北東に進んでいる。この親分に子分の低気圧は道を譲っているため親分に流れ込むエネルギーの一部をもらい受け子分も大雨を降らせゆっくりと移動している。先日の 19 号の被害を受けた地域の再度の被害が心配である。



02.山門が独特の寺の前の橋に寺の名前が



03.水量豊かに流れる西除川

「大饗（おおい）」地区に来ると堺市のデザインでない別の蓋が現れる。合併前の「美原町」の時のマンホールだ。たぶん町の花と木の組み合わせだろう地図とノートを雨水に濡らさないように右手に傘、左手にノートを持ちながら進む。



04.旧美原町時代の蓋は桜とこの木なんの樹だ

阪和道が川を越える地点には4車線の高架の本線の両側に2車線の側道橋、更に外側の両側に歩道橋と5本の橋が並んでいる。行ったり来たりを繰り返して通過する。



05.阪和道が美原区を通過

「北余部」地区に入ると遊歩道が左岸側に整備され、足元には照明装置も有る。レンガ舗装、花壇、ベンチ、屋根付き休憩所と揃っている。トイレがないのが惜まれる。



06.北余部地区には遊歩道に灯りも



07.整備された遊歩道はトイレが無いのでBランクとする

遊歩道沿いに「余部神社」の石鳥居と遥拝所と書かれた石柱が立っている。ミニ神社に遥拝所とは、やりまんない。



08.遊歩道の横に神社の遥拝所が

川はここからジグザグに何度も屈曲を繰り返し始める。府道 26 号に來ると上流側に向かう道が閉鎖されている。直ぐ西側に新道の橋の工事中でほぼ完成している。仕方なく 26 号を南に向かい川に戻る道を探す。工事中の新道の交差点にアヒルの防護柵柱が有ったのでカシャ。



09.橋の工事で川沿いの道は通行不可

10.アヒルの防護柵柱は初めてだ

川に戻り右岸側を進む。平地から台地の勾配を感じる地域に入ると一段高い所とを繋ぐ橋の向こう側とこちら側の桁の高さが違う！本当はこちらも向こうと同じ高さにしたいのだがそうするとこちらの川沿いの道に勾配が生じるのでこの姿にしたようだ。南の方の丘の北野田駅付近には高層マンションが立ち並んでいる。丘なら武蔵小杉のような大規模な浸水状態にはならないだろう。



11.この橋、桁高さが左右で違うぞ

12.北野田駅前には高層マンションが、小杉のように浸水しません

駅近くまで来ると 2 径間の超古い橋に大勢の人が傘をさして歩いている。駅と東の住宅地を繋ぐ重要な橋だがその完成時期が何と昭和 20 年！終戦前後の厳しい時に出来た橋を今も利用しているのだ。その名は「栄橋」。そろそろ新しい橋に変えてやってなー。



13.「栄橋」は昭和20年完成の古強者

だ

地形が山間部風になり川はミニ谷底を流れるようになる。河内長野の「石川」と同じような状態である。次の橋も狭い超古い橋で電動アシスト自転車とバイクが通過して両側の坂道を登って行く。

南海の橋に接近することは能わず、遠くから調べる。川沿いに進む道が無いので坂道をエッチラオッチラと登り線路際に向かう。左手に公園が広がり石碑が立っている。野田城址公園で南朝方に付いた野田氏の城跡である。



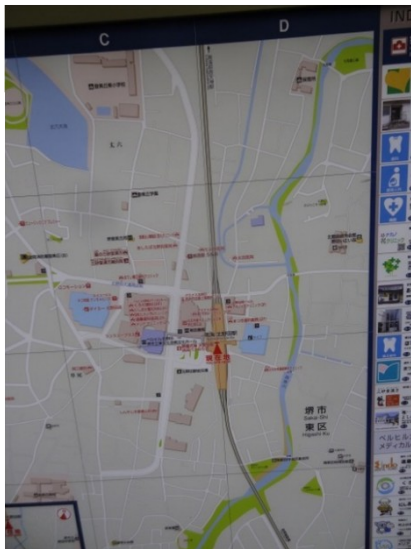
14.南海高野線西除川橋梁を電車が通過



15.野田城址の石碑の後ろを電車が 16.深い谷間の川の上は要害の地だったのだろう

腹が減ったので北野田駅に向かう。駅付近は東西の高低差が大きく、東側は崖状になっている。東側には適当な店が無いので迂回して西側に向かい踏切を渡る。すぐに大阪王将を見つけたので入る。寝屋川遡行時に住道駅近くの店以来の王将である。

雨は未だ止まず、次の橋までは2キロ近く歩くことになるのでモチベーションが上がらず今日はここまでとして駅に向かう。雨降る中、北野田までやって来たのだ。同名地名の高校OBとしては、ここは「南野田」やないかと言いたくなるな。



17.北野田駅まで来たのだ！

帰りの電車から大和川を見れば、高水敷まで水が上がり大和川らしくない太い流れになっている。こりゃ関東、東北は持たんぞ！



18.大雨を集めて太し大和川

本日の歩行距離：5.2km。調査した橋の数：24。
総歩行距離：10,636.7km。総調査橋数：13,754。
使用した 1/25,000 地形図：「古市」（和歌山 5 号-4）